



2021年5月10日

各位

会社名 日本ケミコン株式会社
代表者名 代表取締役社長 上山 典男
(コード番号 6997 東証第1部)
問合せ先 取締役 白石 修一
(TEL. 03-5436-7711)

営業外費用（為替差損）の減少及び 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の第4四半期連結会計期間における営業外費用（為替差損）の減少について、下記のとおりお知らせいたします。また、2020年5月25日に公表した2021年3月期連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上

2021年3月期第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）において為替差損502百万円を計上しておりましたが、その後の為替相場の円安進行により、2021年3月期第4四半期連結会計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）において、為替差益461百万円が発生したため、2021年3月期連結累計期間（2020年4月1日～2021年3月31日）における為替差損は41百万円になりました。

2. 2021年3月期通期連結業績予想数値と実績値の差異（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	113,500	2,900	2,200	1,400	85.98
実績値(B)	110,788	2,971	2,091	2,038	114.76
増減額(B)-(A)	△2,711	71	△108	638	—
増減率(%)	△2.4	2.5	△4.9	45.6	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	114,599	△2,891	△4,245	△5,926	△363.96

(差異の理由)

2021年3月期通期の連結業績につきましては、売上高は予想を若干下回ったものの、利益面では、高付加価値品の拡販や更なる業務効率の改善と固定費の圧縮に加え、投資有価証券売却益の計上などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を上回りました。

以上